

▶自己多血小板血漿（PRP）による再生医療について

1) 自己多血小板血漿（PRP）療法とは

患者様本人の血液を用いて、多血小板血漿（Platelet-Rich Plasma：PRP）を組成し、子宮内へ注入する「再生医療」のことを言います

2) 自己多血小板血漿（PRP）療法の目的

血小板に含まれる成長因子であるPDGF、TGF- β 、VEGF、EGF等は、子宮内膜環境の改善を促すことを期待します。

また、成長因子を多く含むPRP投与により、子宮内膜における細胞増殖、血管新生を良好にすることで子宮内膜を厚くし、胚着床率の改善、および妊娠維持を期待します。

3) 自己多血小板血漿（PRP）療法の安全性について

本療法は再生医療等の安全性確保等に関する法律に基づき、再生医療等提供計画の届け出後、厚生労働大臣に受理された治療になります。

また、ご自身の血液を用いた治療法ですので、アレルギー反応の心配が少なく、これまでの国内外での使用において、重篤な副作用は報告されていません。（2019年12月時点）

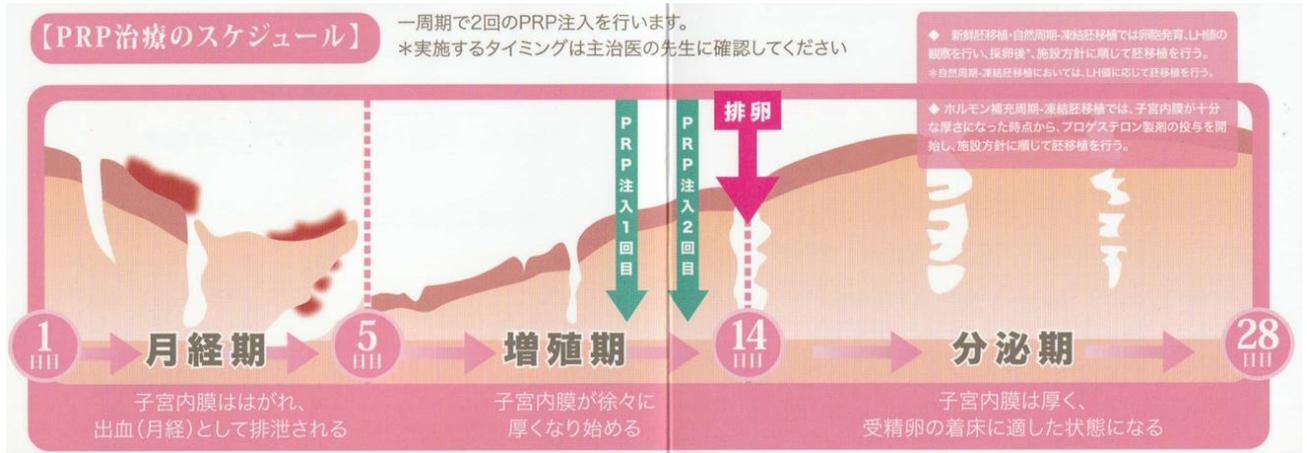
4) 自己多血小板血漿（PRP）療法の対象となる方

- ①子宮内膜が薄い方
- ②反復着床不成功例の方

※下記に該当する方は医師にご相談ください

- ①ヘモグロビン値（Hb）が11g/dL以下の方
- ②フィブリン値（Fbn）が200mg/dL以下の方
- ③血小板数（Plt）が150,000/mm³以下の方
- ④血小板機能異常症の方
- ⑤血行動態が不安定な方
- ⑥治療前10日間以内に非ステロイド性消炎鎮痛薬（NSAIDs）を服用している方
- ⑦B型およびC型肝炎の方
- ⑧抗凝固薬で治療中の方
- ⑨子宮筋腫の切除歴があるかた
- ⑩悪性腫瘍、またはその可能性にて治療中の方

5) 自己多血小板血漿（PRP）療法のスケジュール



6) 自己多血小板血漿（PRP）療法の当日の流れ



7) 自己多血小板血漿（PRP）療法の注意点

- ① バランスの良い食事を心がけてください
- ② 治療後はしばらく安静にしてください
- ③ 治療後24時間以内は、激しい運動は控えてください
- ④ 治療後に発熱をはじめとする、普段と違った症状がみられた時は、直ちにご連絡ください

8) 費用

PRP 療法（自費診療） ￥88,000/回（税込）